

手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作を体験する生徒ら
＝笠松町田代、松波総合病院



手術ロボ、生徒が挑戦

笠松中
2年生 松波病院で職場体験

笠松中学校(笠松町弥生町)の2年生10人が24日、同町田代の松波総合病院で職場体験を行い、最先端の医療技術に触れた。

同校は本年度、同病院との連携で医療に特化した体験学習を行っており、昨年8月には医師らを招いたセミナーを開いた。

小林建司副院長らの案内で最新鋭の内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作を体験。3D映像で患部を

見ながら、先端に鉗子が付いたアームを動かす方法を教わると、生徒たちは夢中になって、操作台の画面をのぞいた。患部に見立てた複数の突起物に掛かた。佐伯尚哉君(14)は「医療技術の進歩のすごさを実感できた」と話していた。

(山田俊介)